

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和3年9月号

ネットリテラシー教育出前講座がありました

東御市教育委員会青少年教育係の小菅さんを講師にお迎えし、9月17日に2年生と4年生にネットにかかわる授業をしていただきました。

2年生には、アニメ動画を使ってわかりやすくインターネットの危険について教えてもらいました。2年生にもゲームに興味がある子が多いようで「むりょう」のゲームでも、どんどん新アイテムを買ってしまうと、多額のお金を請求されてしまうことがあるという内容には怖さを感じたようでした。また、スマートフォンで撮影した写真から自宅が分かってしまうということを知ると「えー、うそー！こわい！！」という

声が聞かれました。途中、何度か小菅さんから2年生に「どうしてこんなトラブルがおきちゃったのかな？」と質問する場面がありました。多くの子が手を挙げ「～したのがよくなかったんだと思う。」と、自分なりの考えを発表していました。

4年生には、2つのミニドラマを見せてもらいました。最初は、スマホでの言葉のやりとりが仲のいい友だちに誤解を与えてしまい、関係が崩れて、学校に行けなくなってしまう女の子のお話でした。小菅さんから「言語情報は人間が受け取る情報全体の7%、半分以上は視覚からの情報であること」を教えてもらいました。面と向かって相手に気持ちを伝えることや表情の大切さを再認識しました。2つ目は、SNSに家族

旅行出発前の写真をアップしてしまったことで、家の所在地をつきとめられてしまい、盗難の被害に遭ってしまった家族の話でした。たくさん子どもたちから「こわあ〜。」という声が上がりました。

小菅さんには、2年生と4年生それぞれの発達段階に合わせた説明の仕方であっていただきましたが、どちらの学年も一番大きな反応を見せたのは同じ場面でした。ゲームやスマホなど、近くの画面を見続けたことによって近視が進み、大きく変形した眼球の写真を見た場面です。子どもたちからは「もうゲームやめよう…。」「もうゲームやらない！」という声も聞かれました。

今の子どもたちにとってネットと関わらずに生きていくことは不可能に近いでしょう。今回、小菅さんから教えていただいたことを1つでも2つでも胸に刻んで、ネットの怖さを知りながら、上手く活用できるようになってほしいです。今後、他の学年でもネットリテラシーについて学ぶことのできる機会を設けていきたいと思います。



小菅さんが職員室からリモート授業



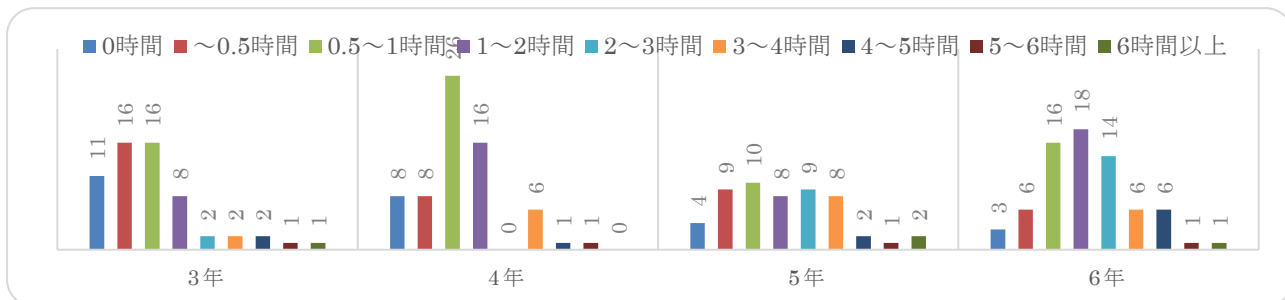
小菅さんの「わかったかな？」という問いかけに「マル」をつくって応える2年生児童

スマホ・タブレット・ゲーム機等(電子メディア)に関するアンケート結果について ～正しく、安全に、上手に使おう～

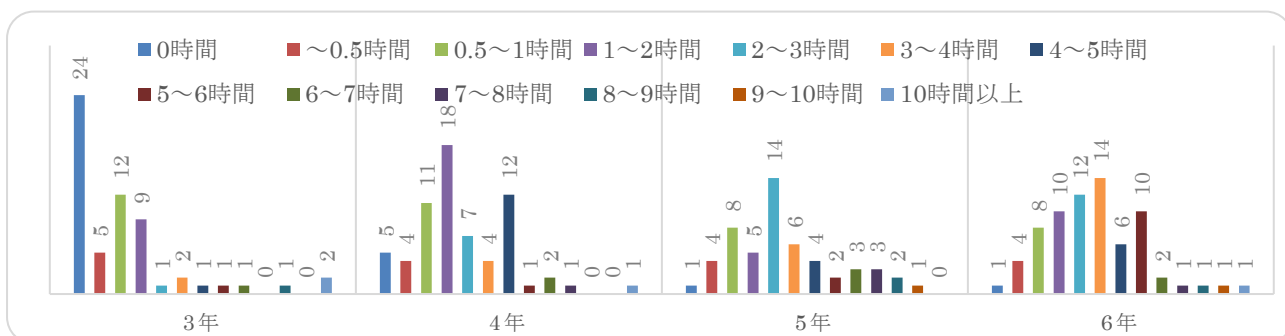
今年6月、東御市内の小学校3年生から中学生にアンケートを実施しました。子どもたちの情報端末やネットの利用状況を把握し、今後学校での情報モラル教育に役立てるとともに、保護者や地域の皆様に現状をご理解いただき子どもたちの健全育成を目的としています。以下、アンケート結果から見えてきた実態と課題を報告いたします。学校では、既に2年生以上でネットリテラシーについての学習を行っています。

まずは、スマホ所持状況ですが、学年が上がるにつれて所持または家族と共有する割合が増えています。一方、3～5年は所持していない子が最も多くなっています。スマホ・タブレット・ゲーム機等（以下電子メディア）を使って、よくやっていることとして、各学年とも動画を見るが最も多く、次いでゲーム、調べる（学習以外の検索）の順になっています。6年生になると使用目的が多様化し、調べ学習、音楽を聴く、SNSなどに広がっています。

電子メディアの使用時間ですが、平日学習以外では以下のようになっています。



使用が多い時間を見ると、3・4・5年生は1時間以内が多くなっていますが、5年生は4時間以内まで平準化しています。6年生になると、ピークが2時間以内となりますが、グラフの山が他学年に比べてやや右寄りになり使用時間が増加していることがわかります。各学年、5時間以上の子がわずかながら見られます。また、休日の学習以外の使用時間は、以下のグラフです。



予想されたことですが、平日よりも使用時間が増えています。3年生は、電子メディアを持っていても全く使用しない子が4割ですが、学年が上がる和使用時間が増えていきます。4年生が2時間以内、5年生が3時間以内、6年生が4時間以内と増加していきます。休日とはいえ、5時間以上使用している子の生活や健康が気になります。アンケートでは、平日及び休日の学習での使用時間もきいていますが、先ほどの学習以外と比べると、どの学年も0時間か30分以内が最も多くなっています。日本の子どもたちは、諸外国の子どもたちと比べて、電子メディアを学習以外で使用すること（例えばゲームやSNS等）が多いと言

われますが、本校でも同じ傾向が見られました。

次に、使用に関する課題です。

【平日、何時まで使用しているか】

10時以降まで使用している子の割合 3年生12%、4年生3%、5年生11%、6年生18%

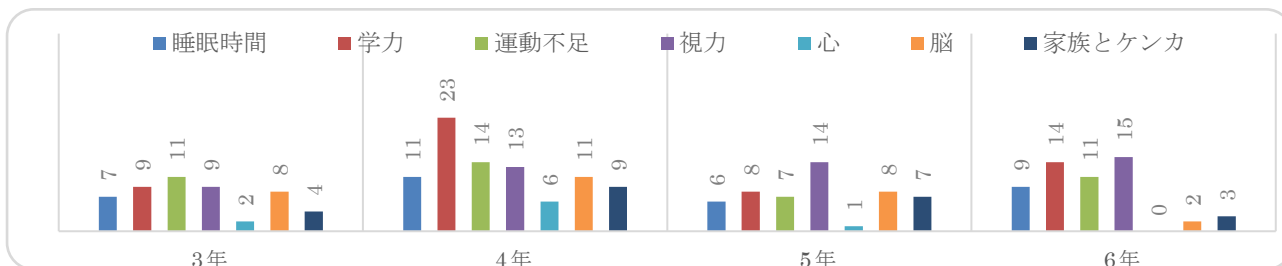
【電子メディアを使うようになっての変化は】

「使用時間がだんだん長くなっている」が各学年最も多くなっています。その他、家族と過ごす時間や学習時間、睡眠時間が少なくなっていると感じている子がいます。6年生では、課金するようになったと答えている子が19名もいました。少数ですが、動画投稿、隠れて使用、人と会うがありました。

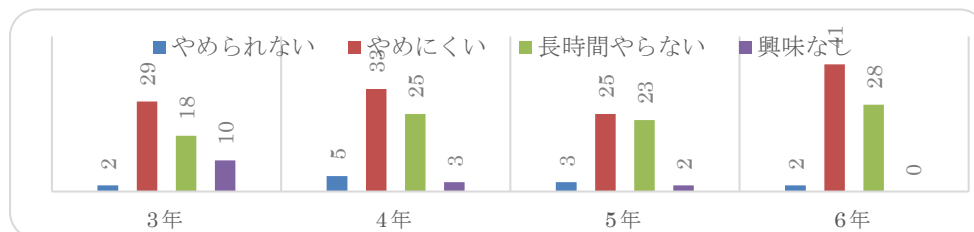
【電子メディアを使って困ったことや心配なことは】

各学年で特に多かったのは、「オンラインゲームのボイスチャットで嫌な思い（けんかや脅し等）をしたこと」、「ネットやゲームでお金がかかるか心配」「課金がやめられない」などでした。いじめや犯罪につながる心配はないのでしょうか。

【使用して健康面で当てはまることは】



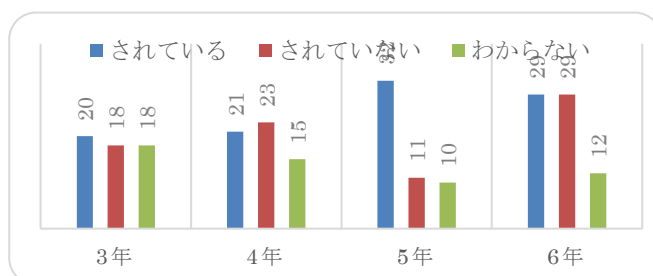
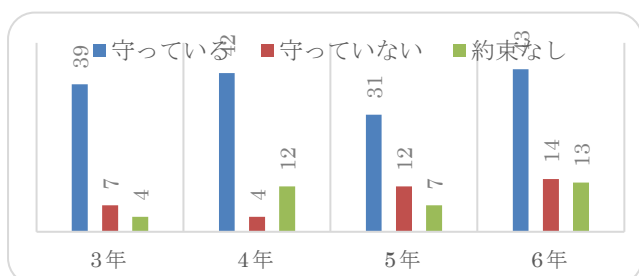
【どれくらい夢中になっているか】



どの学年も、やり始めるとやめにくいと感じている子と、長時間使用を気にしている子が大勢います。

【家族と約束はあるか】

【ペアレントコントロールはされているか】



今回の結果を見て、私たち大人はこうした子どもたちの実態をきちんと把握していくことが大切だと感じました。電子メディアを上手に使うことで、子どもたちの世界が広がったり、趣味や学習に生かしていくことが多くなったりします。一方で、生活習慣や健康、学習などに影響を及ぼしかねない危険性もはらんでいます。ご家族と話し合った上での約束やペアレントコントロールは、子どもたちを守る大切な手段だと思います。学校でも、タブレット学習を進めています。使い方だけでなくルールや約束、情報モラルも指導していきます。子どもたちには、電子メディアを正しく、安全に、上手に使って欲しいと願っています。あくまでも人間が主役です。

大切な命を守るために

～通学路安全プログラム～

24日に上田警察署や安全協会の方々、市教育委員会の皆様等12名の方々に参加していただき「和小学校通学路安全プログラム」が行われました。最初に全員で和小学校の通学路で特に危険があると指摘されている場所を地図上で確認した後、実際に現地に出向き、視察しました。複数の目で具体的にどのような危険があるか、18項目についてチェックしました。地域の方から「危険だ。」という声が多い海善寺北歩道橋から渡海橋までの間や、大川消防庫付近、和郵便局西側などは特に入念に「子どもたちの見通しを妨げる物がないか」「速度規制の表示や交通安全啓発の表示はあるか」など交通安全に関することはもちろん「道路から見える建物の窓が複数あるか」など不審者対策につながる点まで、細かく見ていただきました。各自で確認した後は、今後子どもたちの安全確保のためにどのような点を要望していくかを現地で話し合いました。暑い中、参加された皆さんには大変熱心に臨んでいただきました。

今年度は小学生や幼い子どもたちが命を落とす事故についてニュースで目や耳にすることが多いです。子どもたちの大切な命を守るための環境面をしっかりと整えていただいた上で、保護者や私たち学校職員が繰り返し子どもたちに交通安全について指導することが不可欠だと感じました。



10月の予定

- 1日(金) 安全の日 発育測定 2年
- 3日(日) 東御の日
- 4日(月) 発育測定 4年
- 5日(火) 発育測定 3年
- 6日(水) 校長講話 発育測定 1年
- 7日(木) 児童会⑤
- 8日(金) 遠足 1年 リーサルスキルトレーニング
- 9日(土) 10日(日) 火のアーティストバル 天空の芸術祭
- 11日(月) 社会科見学(リモート) 5年
- 12日(火) 検尿提出
- 13日(水) スクールカウンセラー来校日
- 15日(金) 記念館清掃 4年
職員研修のため5時間授業
- 16日(土) 管楽器交歓演奏会(サトミユヰ)
- 18日(月) 地層見学 6年
- 20日(水) 21日(木) 修学旅行 6年
- 22日(金) 6年休業日
- 27日(水) 就学時検診
- 29日(金) 市内図習展(～1/14)

2週間くらい前から家で飼っている鈴虫が鳴き出しました。窓を閉めていても、秋の虫たちの大合唱が聞こえてきます。虫の声を聞きながら、そういえばと思い出したことがあります。ある先生が言った「子どもたちの中に虫が嫌い、怖い、触れないという子がいる。」という言葉です。自分なりにいくつか理由を考えてみました。人間に害を与える虫への恐怖心や忌避意識、衛生意識の向上で過剰に反応し排除、日常的に接する機会の減少(未知との遭遇)等。。。でも、今や虫は食糧危機への救世主として期待されたり、技術革新に寄与していたり、何よりも地球上の生物の6割が虫であることから多様性の代表選手であったり、すごい力を持っているのが虫たちです。幸いにも、学校の周りの雑草の中や樹木には虫がたくさんいます。訳もなく嫌にならないで、ちょっと関心をもってみませんか。

文責・作成：校長 教頭